

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	変革主義を掲げ、新たなトレンドを創る経済産業省
報告者	国際経営学部国際経営学科 1 年 松野 雄一郎
調査日	2023 年 11 月 2 日
調査先	経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 GX 投資促進室 室長補佐(総括) 荒井 次郎様 大臣官房秘書課 課長補佐(採用担当) 高橋 拓磨様
担当教員	国松麻季教授
担当 CVS	野平彩夏 北口ジュリオ愛学
学部企画名	企業訪問
参加学生数(学年)	1 年生 27 名、2 年生 2 名、3 年生 1 名
調査趣旨・目的	経済産業省の概要、担当していただいたお二人のこれまでのキャリアについて伺い、事前勉強会で得た知識と実際にお話を伺う中で感じたことをもとに質問をし、各自の興味関心を高める。
調査結果	<p>荒井様と高橋様から、学生時代、入省後のキャリアなどを当時の心境も交えながらそれぞれプレゼンテーションをしていただいた。その後、質疑応答という形で事前勉強会で生まれた疑問や実際にお話を伺う中で関心を抱いたことについてより詳しくお話を伺うことができた。</p> <p>前半のお二人からのプレゼンテーションでは、「自動車の開発基盤の強化」、「国際経済紛争」、「新たな技術の開発、支援、実装」、「福島復興」などお二人が関わってきた、また関わっている事業に関して、紹介していただいた。インパクトの強いキーワードも交えつつ、経済産業省、お二人のキャリア、関わってきた人々についてのお話を伺い、経済産業省の概要、業務内容が大変具体的になり、私たち学生にとって非常に刺激になった。</p> <p>質疑応答の時間では、「厳しい世界でお 2 人を突き動かす原動力は何か」、「グローバルな場面での意思疎通において気を付けていることは何か」という質問が学生側からされた。それに対する回答として、「自分なりに解釈した、その仕事に対する意義」、「相手を最大限思いやりつつも、泥臭く、はっきりと伝えたいことをぶれずに伝えること」というお言葉をいただいた。どの言葉も実践をもとにお二人が積み上げてきたものから生まれたものであり、私たち学生にとって雷に打たれたような、核心をついたものばかりであり、非常に刺激になった。</p>

私たちが持っていた官僚のイメージとは異なり、担当していただいたお二人は自分がやりたい、成し遂げたいことに純粹であり、情熱と信念をもって生き生きとお仕事をされていた。今回の訪問を通して、私たち学生にとって、「社会で働く」ということはまだまだ不明瞭な部分が多いことであったが、お二人のお話を伺う中で、働くことについて解像度が上がり、自分がこれからどういったキャリアを目指していくのか、またそのためにはどのような能力を身に付けていく必要があるのか、明確になった。今回の訪問は参加学生にとって、大変刺激的なものであり、キャリアについてさらに深く考えるきっかけとなった。

※調査時の写真

お二人のキャリアについて伺っている様子です。途中笑顔も交えながら、普段聞くことのできないお話を伺えました。



最後に写真を撮らせていただきました！貴重な機会をいただき、ありがとうございました！

